

JC NEWS 2024



CONTENTS

- ・ 10 月例会
- ・ 次年度委員長予定者 次年度への抱負
- ・ 次年度出向者紹介 ・ 麻生直前会頭からのメッセージ
～ 心に火を灯したリーダーの心得～
- ・ 唐津神社参道清掃

10月例会



担当：国際交流委員会

10月21日(月)

10月例会では私たち唐津青年会議所のメンバーがグローバル人財を目指すために、グローバルな考えを獲得するために委員会タイムが催されました。

委員会タイムではPPTを用いて、唐津市の現状とインバウンド需要について理解し、変化する社会情勢が唐津市に影響を与えていることや、インバウンドの成功例を知ることによって唐津市も見習う必要があることを知ることができました。さらには青年経済人として市政に頼らず社会情勢の変化を知る力が必要であることを理解しました。



その上で、現在のインバウンドの傾向から「20年後のからつ」を想像してもらい、実在するからつ在住の外国人を題材として、今後からつに求められる外国人との共生に必要な問題点を考察・模索するグループワークを行い、私たちが予測する彼らの問題点と実在する彼らの問題点は乖離していることが幾つもあり、新たな気づきを得ることができました。具体的な外国人の目線に立って共生する案を模索することによって、異文化を知り、人を思いやり、多様な価値観を認めあえるグローバル人財を目指します。

次年度委員長予定者の 次年度への抱負

次年度、会員交流委員会の委員長を務めさせていただきます。三浦貴旦と申します。

私が思う会員交流委員会の担いは委員会名の通り、会員間の交流を促進させることだと思います。まずは我々会員交流委員会が一番に楽しんで活動に取り組み、唐津青年所全体に波及させ、全体を巻き込んでいければと思っています。次年度会員交流委員会は、メンバーに成長を実感でき唐津青年会議所活動・運動を楽しんでもらえるよう1年間邁進します。



とうとう私にも、名もなきヒーローのリーダーとして出番がきました。2025年度未来づくり委員会の委員長の役を仰せつかりました井上和樹です。

2025年度も唐津のため、情熱を持って課題解決に向き合い、地域の皆さまと共に楽しみながら活動を進めていきたいです。

そして愛があふれる誇れる未来へ向けて、責任とわくわくを胸に挑戦します。



2025年度国際交流委員会委員長として選任していただいた原大輔です！

委員長として率先して国際交流をしていきたいと思っています。次年度は麗水青年会議所のメンバーを唐津の地にお迎えしての交流事業、また、糸島青年会議所におかれましてはこちらから訪問することとなりますので、多くのメンバーで楽しく交流したいと思いますのでよろしくお願いします。



私は2023年度に唐津青年会議所へ入会しました成富隆博です。そして、来年3年目となる年に指導力・経営開発委員会の委員長として選任して頂きました。

経験年数はまだ浅いですが、からつをより良くしたいという想いは誰にも負けません！

唐津青年会議メンバーが、時代とともに変化する社会課題に立ち向かえる人財へと成長できるよう、日々取り組んでまいります。





2025 年度総務・広報委員会の委員長を仰せつかりました大原玄太です。次年度の総務・広報委員会は梅田理事長のスローガンである「For you」の考え方を基に利他の精神を大切にして委員会を運営していきたいと考えています。また、次年度は全国大会が佐賀で開催されることもあり、副主管となる唐津青年会議所は、主幹 LOM の下支えとなり大会の成功へとサポートしていきます。そして、梅田理事長を中心により一層、唐津青年会議所を盛り上げていきます。2025 年度も宜しくお願い致します。

次年度出向者紹介



公益社団法人日本青年会議所
九州地区佐賀ブロック協議会
アカデミー・LOM 支援委員会
委員長 小形 昌寛

ラストイヤーにこのような役が私に回ってくるとは、引き受けた自分自身でも驚いています。ただ、せっかく機会をいただいたからには、“不撓不屈”の精神で取り組みます。県内各 LOM の負担軽減、リーダーの育成、即戦力となる人材の輩出をブロックとして推進し、持続可能で活発な組織運営を目指していきます。既に声掛けした皆様！委員会に席を空けて待っているのでもろしく！その他のメンバーもこの機会に是非ブロックへ出向してみてください(^^)



公益社団法人日本青年会議所
九州地区佐賀ブロック協議会
運営専務
井上 智美

何もかもが初めてでわからないことがわからない！と戸惑うこともあります。多くの皆様のアドバイスを受けて日々活動しております。LOM には LOM の、出向には出向の楽しさ、経験があり、次年度は出向の経験を唐津青年会議所に波及できるよう頑張りたいと思います。来年は全国大会佐賀大会も開催されます。皆様のプラスになるような佐賀ブロック協議会にしたいと思っておりますので、ぜひ出向していただきご協力お願いいたします。

「心に火を灯したリーダーの心得」

8月28日(水)に公益社団法人日本青年会議所第72代会頭である麻生将豊直前会頭をお呼びして、スキルアップセミナーの開催を予定していましたが、残念なことに台風の影響によって中止となりました。この度、麻生将豊直前会頭のご厚意により、次年度執行部予定者と座談会形式で催す予定であったセミナー内容を書面にて唐津青年会議所に送っていただきました。本来であれば次年度執行部予定者も含めた全文も紹介するところではありますが、ページの都合上、割愛させていただきました。



公益社団法人日本青年会議所
第72代会頭
麻生商事(株)代表取締役社長

麻生 将豊 氏

Q1. 座右の銘を聞いてもよろしいでしょうか？

私の座右の銘は「和而不同(わじふどう)」です。これは孔子の論語に出てくる言葉で「和して同ぜず」と読みます。私の理解している意味としては「場の雰囲気や人間関係を壊さないためにもある程度協調はするが、自分の信条に外れたことには同意しない」といったことです。これは全てのことに通じると私は信じています。また、経営哲学としては、家訓でもあり、社訓でもあります。「程度大切 油断大敵」ということだと思っています。程度大切だけみると、「自分の限界を見極めて判断する」ということだと思われそうですが、私が考えるこの意味は、「自分の限界を見極めたうえで最大限挑戦する。その上で、徹底的に準備をし、リスクを見極めて判断し実行する」ということだと思っています。

Q2. これまで何を成長の原動力にしてきました？

実は、自分は自ら成長しようと思ったことはありません。気が付いたら、今のスキルが身についていたというのが正しいのだと思っています。JCに限って言えば、先輩から入会当初から言われた、「来た役職は全て受けろ」これを守ってきたからだと思っています。結果的に成長につながったというのが正しいのだと思います。

そういった意味では、能動的に動く人、例えば何か指示されてもその意味(真意)を考えてから動く人と、言われたからやるだけの人では成長スピードが違いますが、自分が社会人をやったトヨタ自動車九州ではその教育が徹底されていて、能動的に動くことを新入社員教育で徹底的に叩き込まれます。その考え方が自分の成長スピードを上げてくれたのかもしれない。

Q3. 苦労や困難な状況が起きた際にご自身の中でリーダーとしての考え方を教えて下さい。

最悪な事態を想定するというのは同じだと思います。経営者としてその判断を誤るわけにはいかないからです。もう1つ私が考えるのは、自分の判断が正しいのかどうかを決める基準を定めておくということです。会社であれば法的なことと、昨今言われるようになったレピュテーションリスクをクリア出来ているかということだと思います。このレピュテーションリスクというのが一番難しいと思っています。世の中の感情論というのは、本当に難しいです。特にコロナ禍に旅館業を営まれていたのだとしたら、この問題は大変だったのではないのでしょうか。この基準を自分たちの中でどう見極めるのか、これが大事だと思っています。私の場合は、プロに相談するというのをよくします。弁護士や社労士と言われる士業の方はもちろんのこと、信用できる友人経営者にもいろいろな形で相談をするといったことをして最終判断をしてきました。会頭の時も同様です。どうしても悩んだ時は、中島直前・菅野専務の二人には本当に色々なことを相談して決めていましたし、酒井副会頭をはじめとする正副メンバーと協議をして最終的に、結論を出していました。しかし、自分の信条としてどうしても認められないことがあれば、そこだけは押し切ることも多々ありましたよ。

Q4. 組織に入って早々からモチベーションの低い人も居ると思いますがそういった仲間とどう接して行けますか？

私が LOM で委員長をやったときに悩んだことの 1 つがこれです。スリープしているメンバーをいかに出席させようかと、様々なことを試しました。

1. 夜が難しいなら早朝に委員会を行う
2. 平日が難しいなら週末に委員会を行う
3. そもそも、その人の日程に合わせて委員会の開催日を調整する

ここに書いていないことも色々やりましたが、結局彼は出席をほぼしませんでした。しかし、翌年彼が嬉々として JC に参加していたのです。意味が分からなくて本人に懇親会の場で聞いてみたところ、自分の仲の良いメンバーが楽しそうに JC の話をしていた、それを聞いていたら来てみたくなったというのです。その時に私は悟りました。モチベーションの低いメンバーに合わせても時間の無駄だということを。逆にモチベーションの高いメンバーのモチベーションをとことん上げてやって、とにかく楽しくさせることが大事で、結果、周りがとことん楽しそうにやっていると、そこに釣られてやってくるのだということを。以来、私はこのような対応をとるようになりました。

Q5. 厳しくもモチベーションを維持できるような伝え方はどのようにしたらいいと直前会頭は思いますでしょうか？

上の質問と同じ答えになるかと思いますが、他に大事なことは委員会メンバーと JC 以外の時間を共有する時間を増やすということだと思っています。JC は会社と違って雇用関係ありませんし、取引関係みたいなこともありません。人間同士の繋がり成り立っている組織です。つまり、人間関係がいかに強固かということが全ての根本です。委員会だけ、JC だけではなく、プレイベートも含めて人間関係を如何に強固にしていくかということが、全体的なモチベーションを維持することにつながると信じています。

Q6. 麻生直前会頭は JC または仕事で夢を語る時、どのように伝えていきますか？とことん夢の魅力を語るのか、熱量で伝えるのか、論理だてて説明するのか。伝え方を教えてください。

全員に 100% 伝わることは残念ながらできないと感じますし、23 年度に会頭をしていた際にも理事会構成メンバー全員にその夢を 100% 共有出来てはいなかったと思っています。しかし、5 人にならうでしょうか？自分の意志や思いに対して 5 人なら 100% 理解し手伝ってくれる仲間がいてその人たちが同じ熱量でやってくれるのであれば、その人たちにも同じ 5 人がいてくれてその思いが伝播していくことが私は大事だと思っています。これを言い方が悪いですが「ねずみ講式」と私は昨年メンバーに伝えていました。では、この 5 人にどう伝えていくのかということですが、これは如何にその人に対して時間を使って話してきたのか、ということに尽きるとしています。

Q7. 麻生直前会頭は困難を乗り越えていくためにこれだけは絶対に 1 番最初にやる事などあれば伺いたいと思います。

ルーティーン的なことは特になのですが、まずはその問題の本質は何なのかを考えます。そして、次に考えることは義理を欠くようなことは無いかということを考えます。最後にその困難を最短で終わらせられる方法を導き出すということだと思っています。



指導力・経営開発委員会
委員長 宮崎 麻衣子

本来であれば会場にてセミナーを受講することで多くの学びを得られるように準備をしてまいりましたが、当日は台風の影響で中止となりました。しかし、唐津青年会議所のためとなるよう、麻生直前会頭から書面にて当日行う予定であった座談会の内容を送っていただきました。唐津青年会議所のメンバーはこちらの内容を閲覧することでリーダーシップについて学びの一助となれば幸いです。

麻生直前会頭、忙しい中ご回答いただき、誠にありがとうございます。

唐津神社参道清掃

11月3日、唐津神社参道の清掃に参加しました。例年、11月2日～4日は唐津くんちが開催されています。今年は3日間で過去最多の64万人の人出となったそうです。過去最高の記録は素晴らしいことですが、お祭りに人が集まれば、悲しいことにゴミがあちこちで散見されるようになります。そこで、毎年11月3日は有志を募って唐津神社参道を清掃しています。通りにはたくさんのゴミが落ちていましたが、有志一同でしっかり清掃に励んできました。朝早くからの作業でしたが、メンバーの子どもも参加してくれました。最後には曳山をみんなで見学して、当日の活動は終了となりました。参加した皆さん、清掃活動お疲れさまでした。



卒業式

花束贈呈に関するご案内

卒業式

日時：令和6年12月7日（土）

卒業式：15：00～18：00

会場：唐津市民交流プラザ3F 多目的ホール

卒業されるメンバーへの花束を受け付けております。卒業するメンバーへ花束を贈呈された方は、卒業式の際に全員のお名前を読み上げるよう計画しております。花束を贈呈される方は事前連絡にどうかご協力をお願いいたします。

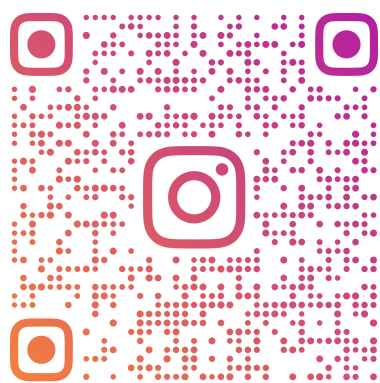
会員交流委員会委員長 栗原 孝次郎（090-5944-2110）

※例年と会場が違いますのでご注意ください！！

不屈不撓

乗り越える壁がある時こそ人は強くなる
挫けず前進し光り輝く未来へ

JCI  TM
Karatsu



KARATSU.JC

